

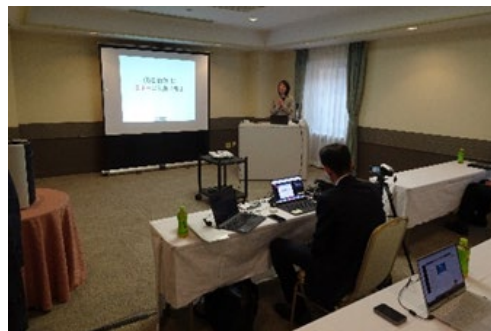
支部のトピックス(北海道支部)

ライブ配信機材導入によるオンラインセミナー開催

北海道支部の技術部会 業務委員会では例年講演会等を企画・運営してきましたが、令和2年3月頃から始まったコロナ禍において、これまでのような大人数かつ集合形式の講演会等を開催することができず、同時に RCCM 資格の更新に必要な CPD 単位数も段階的に引上げるようになっており、CPD 単位取得の機会として講演会等の開催がより求められることから、その対応を継続的に検討して参りました。令和2年度は支部主催の講演会を無観客にて動画撮影し、本部の CPD 取得セミナーに登録させていただくなど、CPD 単位取得機会を作ったものの、例年開催していた研修会については、オンライン形式での開催に関するノウハウや機材がなかったため、貸会議室にてオンライン配信機材と配信スタッフをお借りして開催した結果、想像以上に多額の経費がかかってしまい、今後のオンライン形式での配信について課題が残りました。そのようななか、令和3年4月よりライブ配信するオンライン形式の講習会についても CPD 認定プログラムとして認定されることになったため、今後のオンライン形式の開催に対応するべく、独自にインターネットで情報収集し、カメラ、ノートパソコン、スイッチャー等、オンライン配信に必要な機材一式を支部で購入いたしました。



支部にて購入した機材一式



講演会のライブ配信撮影風景

令和3年度は計5回のオンラインセミナーを開催しました。撮影会場は講師の方と数名の事務局のみで、密回避かつ小規模会場で開催可能となり、これまで集合形式の際に利用していた広い会場に比べ会場費を削減することができました。回を重ねるごとに運営に関する細かな課題が出てきたため、オンライン質疑応答ツールの導入や Google フォームによるアンケート受付・集計の自動化など改善も行い、運営の安定化を図りました。

受講者のアンケートを見ると、北海道支部のオンラインセミナーは YouTube ライブ配信を利用して開催しており、パソコンからだけでなく、タブレットやスマホ等での視聴もしやすく、会場への移動時間がかからないため、とても好評を得ています。

このように新型コロナウイルス感染症という大きな外圧の影響で開始したオンライン形式のセミナーですが、オンライン形式でのメリットが大きく、新型コロナウイルス感染症の収束後においても講演会や実技等を伴わない講習会については、導入した機材を活用しオンライン形式又は対面形式とオンライン形式を併用するハイブリッド形式で開催していきたいと思います。